

頑張る企業を応援します！

中小企業応援団

愛知県信用保証協会 × 中部経済新聞



掲載日 2022年8月18日

ワコー精密株式会社

金属部品の精密加工を手がけるワコー精密株式会社。創業以来、複写機の部品製造が中心だったが、コア技術を活用し自動車関連部品製造事業へも進出した、代表取締役社長の夏目稔氏に話を聞いた。

Company Data

社名：ワコー精密株式会社
代表者：夏目 稔
住所：豊川市市田町上新屋 1 番地
電話：0533-84-6006
URL：<https://www.wacoh-precision.co.jp>



複写機のシャフト加工技術

当社は父・夏目亘が1968年に夏目製作所を設立したのが始まりです。父はエンジニア時代に得た部品加工ノウハウを生かし、複写機やミシンの部品を手がけ、従業員4人程の家内工業でした。

当社の主力事業の一つは、複写機で使う感光体ドラム軸などを中心とした金属加工です。なかでも複合印刷機（プリンター）内にある長尺シャフトの製造において、精度の高さからお客様の信頼を得てきました。プリンターシャフトは、インクの粒を紙に正確に転写するのが役割であり、高真直・高精度を要求される製品です。当社はシャフトで最も長いとされる1.2メートルも製造していますが、長さ3メートルの鋼材から削っていきます。



この削っていく作業は難易度が非常に高いですが、当社では経験の長けた技術者が、何万もの切削刃具、何千種類もの切削油から、シャフトを製造するのに最適な組み合わせを導き出していきます。金属は外部要因で反ったり、歪んだりすることがあります。特に長尺シャフトの製造は反りや歪みのリスクが大きいため、同業者は参入しづらい分野です。

コア技術を活用し複写機から自動車関連事業へ進出

1996年から国内で複写機を扱う大手メーカーが次々に海外生産へとシフトしました。当社も中国に進出しましたが、国内での新規事業の探索にも注力しました。そこで考えたのが当社のコア技術である金属加工技術を生かした自動車関連分野への進出です。2015年より自動車のパワーシートなどで使用される部品を製造することから取り掛かり、2021年より新たに設備を導入し本格的な生産体制を整え、今では生産の8割を自動車部品が占める新規事業参入を果たすことが出来ました。

社外からは「複写機の金属加工会社だったのに、よく自動車分野に進出できたね」と驚かれます。この自動車関連分野への進出は、息子であり取締役の夏目幸哉が主導となり既存の事業とは全く異なる課題に対する一つ一つの取り組みに加え、お客様やお取引様からご支援をいただくことで短期間で新規事業進出を叶えることが出来ました。

取締役は常日頃から「人との出会いを大切にしたい」という思いを持っています。その思いが、後の自動車分野進出につながったものと考えています。

一日を大事に そして従業員を豊かに

私の座右の銘は、「一日一生」です。これは比叡山延暦寺の大阿闍梨だった酒井雄哉さんの言葉です。そこから私が大切にしたいと考えているのは、「従業員を豊かにすること」です。当社では年1回部署の垣根を越えてQCサークル活動を実施しており、若手・中堅など様々な立場の従業員が意見を発表しています。こういった課題に真摯に向き合うことは「生きることを真剣に考える」につながり「従業員を豊かにすること」につながると考えます。

先が見えない時代 より地域に愛される会社に

当社は「地域の皆様に愛される企業」という経営方針に沿って、地域の方との共存を第一に考えています。毎年、地域住民の方の理解を得るために年一回、工場近隣の家々を一軒ずつ訪問し、当社の事業環境を説明しています。

訪問後に届いたご意見は、社内の安全衛生委員会にフィードバックします。改善点があれば、すぐには是正策を考え実行します。このような地域の人の支えがあって、工場を稼働させてもらっています。



今後更なる取引拡大を目指し今はその足場固めの時期と考えています。自動車部品業界では新参者ですが、従業員みんなが、次の当社の歴史を築いていってくれればと期待しています。